

大学・地域共創プラットフォーム香川 2023 年度中長期計画達成状況評価表

3部会合同連絡会
令和6年7月18日

取組内容	2023 年度計画	2023 年度実施内容	自己評価
<p>1 高大連携事業・進学促進事業(進学・教育部会)</p> <p>①高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施 ②小学生を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした体験講座「香川わくわく子ども大学」を提供 ③高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教職員を派遣して指導・助言を実施 ④大学等が共同で高校に出向いて進学説明会を実施 ⑤高校教員を対象とする県内大学等合同の説明会・交流会の実施に向けた検討 ⑥県高等学校 PTA 連合会との連携による保護者対象の研修、会報誌を活用した広報の実施 ⑦学生募集のための広報活動の実施 オープンキャンパスの共同広告、ホームページの活用、高校設置のパンフレットスタンドの活用、デジタルキャンパスガイドの作成・公開</p>	<p>①出前講座の情報発信と実施 150 件 ②香川わくわく子ども大学 10 講座 ③高校の「総合的な探究の時間」で大学等の教職員が指導・助言 1 校 ④合同進学説明会の実施 6 校 ⑤合同大学説明会・交流会の検討 ⑥高大連携キャリアデザイン研修開催1回、「高 P 連だより」への記事掲載 2 回 ⑦オープンキャンパスの共同広告 1 回 ホームページの活用 50 件 高校設置のパンフレットスタンドの活用 3 回資料補充 デジタルキャンパスガイドの作成公開 1 回</p>	<p>①実施件数: 75 件 出前講座の情報を各高校へ郵送・周知、アンケート調査を実施 ②開講数: 13 講座 参加者数: 小学生 286 名(親子 232 組) 開催校・開催日: 高松大学(8/5)、徳島文理大学(7/22,7/29,8/19,8/27)、香川短期大学(8/11,9/30,11/25) ③高松北高校 1 校に「グローバルスタディ成果発表会(総合的な探究の時間)」の指導助言者として徳島文理大学から教員 1 名派遣(11/24) ④実施校数: 4 校 実施校・実施日: 香川中央高校(6/15)、高松中央高校(7/3)、小豆島中央高校(7/20)、高松東高校(9/27) 高松中央高校及び小豆島中央高校では県内大学等から県内就職した OG が参加し、ロールモデルとして県内大学等を PR ⑤高校から意見を聴取し、関係機関と協議・検討を行った。次年度は県内大学等合同進学説明会等と並行して実施することとした。 ⑥高大連携キャリア研修 開催日: 12/9 会場: かがわ国際会議場 参加者数: 県内高校生・保護者・高校教員等会場約 190 名、オンライン約 140 名 「高 P 連だより」に 2 大学、2 短大の記事を掲載(10 月、3 月発行) ⑦オープンキャンパス日程一覧を PF ホームページにて公開 ホームページへの行事予定・報告掲載: 予定 7 件、報告 18 件 高校設置のパンフレットスタンドには、各大学等において適宜資料を補充 Web サイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開(9/28)し、学習アプリでの広告配信を実施した。(3/6~3/11) 閲覧者数 2,706 名(3/31 現在)</p>	<p>①実施件数は計画の半数であったが、講座に対する評価は、「期待以上だった」と「期待通りだった」を合わせると 100%であった(回答率 29.3%)。出前講座活用の周知、アンケート回収率の向上などが課題である。 ②目標数を上回る講座を開催できた。参加者対象のアンケートでは、「とても満足できた」と「満足できた」を合わせた評価が 99.5%であった。(回答率 86.2%) ③高校からの要望により 1 大学から教員を派遣した。指導内容に対する高校の満足度は高かった。 ④県内大学等がより多くの高校生/高校教員と接する機会を作るため、説明会の実施高校を増やすことが課題である。 ⑤高校教員との交流会は高校側に負担となるため実施が難しい。高校のニーズに沿った形で実施することが課題である。 ⑥計画通り実施できた。大学等合同説明会に対するアンケート結果は、「とても良かった」と「良かった」を合わせた評価が 97%であった。 ⑦ホームページ等を活用した効果的・効率的な情報発信を行うことが課題である。</p> <p>全体としては、ほぼ計画通りに実行できているが、各取組に対する理解・協力が得られるよう小中高校との連携強化を図るとともに、ニーズに対応できる取組となるよう改善に努めたい。</p> <p style="text-align: right;">【評価】 B</p>
<p>2 大学等連携強化事業(進学・教育部会)</p> <p>①県内大学生等に多様かつ柔軟な学修の機会を提供 ②教職員研修としてFD・SD活動の共同開催 ③各大学の外国人学生間の交流の機会を設ける ④リスクマネジメントに関する研究会・協議会等の開催 ⑤長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る ⑥県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AI を</p>	<p>①単位互換科目の共同開設 730 講座 受講者数 10 人 ②高等教育の中長期グランドデザイン、リスクマネジメント、数理・データサイエンス・AI 教育等の研修実施 3回 80 人 ③各大学等の外国人学生間の交流会 2 回 70 人参加</p>	<p>①単位互換科目を 554 講座開設、受講者数 10 人 ②「地方大学の新たな選択肢~これからの魅力ある地方大学とは~」(9/22) 参加者数 27 名 「危機管理シンポジウム」(12/4) 参加者数 189 名 「数理・データサイエンス・AI 共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム」(3/6) 参加者数 92 名 ③うどん打ち体験交流(12/17) 参加者数 6 名(4 カ国)</p>	<p>①地理的・時間的制約、学生の動機付けが課題であり、オンデマンドやeラーニングの活用、地域志向科目の開講などを検討したい。 ②計画通り実施できた。教育・研究機能の充実や地域貢献に資するようなテーマ設定が課題である。 ③楽しく交流できたが、実施時期、内容、参加募</p>

<p>習得できるよう教育体制の構築・普及を行う。</p>	<p>④自然災害や人為災害等に対する大学等のリスクマネジメント体制を構築する取組 2 回 ⑤外部講師招聘による研修会 1 回 ⑥研修会 1 回、他県研修会の随時案内</p>	<p>④危機管理シンポジウム(12/4、香川大学主催、PF 香川共催) 参加者数:189 名(会場 69 名、オンライン 120 名) ⑤外部講師招聘による研修会「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」(9/22) 参加者数 27 名 ⑥数理・データサイエンス・AI 共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/6) 参加者数 92 名</p>	<p>集方法などを見直したい。 ④計画通り実施できた。香川大学で行われるイベントに構成大学等から積極的に参加するよう働きかけたい。 ⑤計画通り実施できた。 ⑥計画通り実施できた。 【評価】 B</p>
<p>3 地域内就職の推進に向けたキャリア支援事業 (就職・産業振興部会)</p> <p>①業種別の複数社によるオンラインでの企業説明会の開催 ②県内自治体等の担当者やOB・OGと県内大学生が一堂に集まる大懇談会の開催 ③就職活動の始め方や企業研究の方法を説明する研修会の開催 ④就職支援を目的とした就職面接会及び個別面談会の開催</p>	<p>①オンラインでの企業説明会の開催 3 回 ②大懇談会の開催 1 回 ③研修会の開催 1 回 ④就職面接会及び個別面談会の開催 3 回</p>	<p>①8 月 2 回、9 月 1 回 参加者数 86 名 ②9 月に開催 参加者数 19 名 ③10 月に開催 参加者数 19 人 ④4 月、3 月に開催(2 回) 参加者数 (対面)延 290 名 (オンライン)延 27 名</p>	<p>①参加者数が昨年の 187 人から 86 人へと減少した。学生アンケートによる評価は「満足」「やや満足」の合計が約 9 割を超えた。予定通りに開催できた取組みは、参加学生の満足度は非常に高かった。課題としては、学生参加者の確保、参加各企業の持ち時間の長さと使い方、コース内容の検討等が挙げられる。 ②学生アンケートによる評価は「満足」、「やや満足」の合計が 100%となった。課題としては、学生参加者の確保が挙げられる。 ③企業担当者を招聘し、就職活動のポイントを解説した。課題としては、学生参加者の確保が挙げられる。また、各大学においても同様の研修が実施されているところであり、内容の抜本的な見直しを検討する必要がある。 ④学生等の就職支援を目的とした内容ではあるが、「かがわーくフェア」とは異なる「かがわ JOB フェスタ」を実施したことから、実施回数が 2 回となった。 【評価】 B</p>

【評価】

- S: 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
- A: 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
- B: 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
- C: 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
- D: 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

令和5年度総合評価
B

数値目標の達成状況① 自県大学進学者の割合 21.0%	数値目標の達成状況② 県内大学卒業生の県内就職率 52.0%
自県大学進学者の割合 17.4%(令和5年4月入学)	県内大学卒業生の県内就職率 40.1%(令和6年3月卒業)